

耳鳴り

北尾耳鼻咽喉科医院

北尾 健二郎

若松区高須東3丁目13-7

電話 742 - 0330

「キーン」とか「ジー」などの耳障りな音がして患者の精神的な負担も大きく、ひどい場合は日常生活にも悪影響を及ぼしかねないのが耳鳴りです。

近年、耳科学は次第に発展を遂げていますが、この耳鳴りは今なお治りにくい病気の一つです。患者さんの中には何度か耳鳴りの治療をしたにもかかわらずいまいち治療効果が見られないまま治療を中断している方も少なからず見うけます。

耳鳴りには大きく自覚的耳鳴り、他覚的耳鳴りと2つに分かれます。他覚的耳鳴りとは音源(血流や筋肉)が体内にあり実際に音が鳴っているもので、これは他人でも聞くことができます。これに反して自覚的耳鳴りは実際には音がしてなくて患者さんだけが聞こえるもの。ここでは耳鳴りの多くを占める自覚的耳鳴りについて治療法を述べたいと思います。

現在、耳鳴りの治療法は内服薬、注射、神経ブロック、マスカー(耳鳴り遮蔽)法、心身医学的アプローチなど多数試行されているが、これはとりもなおさず決定的な治療法がないことを表していることにもなります。耳鼻科医はいろいろある治療法の中から患者さんに適した方法を選んで少しでも耳鳴りが小さくなるように治療していますが、なかなか有効な手立てが見つからないことも多いものです。

このような治療の現場だったのですが最近一筋の光明がさしてきました。それは TRT といって最近テレビなどでも報道されてご存知の皆さんもおられると思いますが、簡単に言えば耳鳴りの音を小さくするものではなく、耳鳴りを気にしなくなるようにする治療です。

具体的にはコンピューターでその患者さん用に調整した小さな音を TCI という補聴器のようなものを付けて1日に6時間程度耳に入れてやり、次第に耳障りな音を気にならない音に慣らしていきます。患者さんが器械を購入する必要があるので、多少経費がかかる面があり、また日本の治療症例数も少なく評価もまだ十分に確定されていませんがヨーロッパでは8割近い有効率を上げていることが報告されています。平均寿命が世界一になった日本はこれから高齢化社会の到来とともに老人性難聴も増加しています。それに伴って今後耳鳴りに悩まされる患者さんも増えてくることが予想されます。これまではある程度治療して効果が薄い場合には、それ以上は有効な治療法が少なかった病気だけに今後耳鳴りに苦しんでいる患者さんには朗報になるでしょう。